

ネイチャーセンターだより



12月のみどころ



キレンジャク

【上旬】

キレンジャクが飛来します。風蓮湖は徐々に結氷しはじめます。海上にはビロードキンクロやコオリガモ、クロガモなどの海ガモ類が集まってくるようになります。

【中旬】

ベニヒワ、ハギマシコなどが春国岱の草原に飛来します。また、ユキホオジロが飛来するかもしれません。

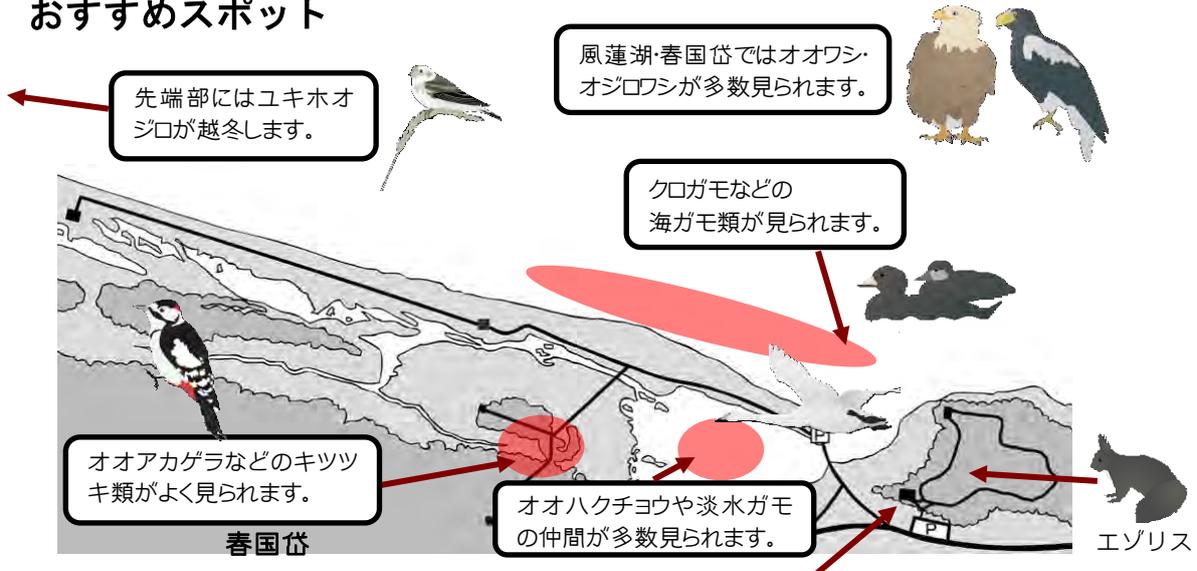
【下旬】

早ければ風蓮湖が氷結し、氷下待ち網漁が始まります。漁で捨てられた魚目当てに多数のオオワシが風蓮湖を訪れます。また、ネイチャーセンターの窓辺に設置している餌台にはシメヤカラ類、シマエナガなどの小鳥がやってくる他、エゾリスも訪れるようになります。氷上にはゴマフアザラシが見られるようになります。



オオワシ

おすすめスポット



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。お気軽にお声かけください。

トピックス

冬の王者 オオワシ

12月頃になると、春国岱・風蓮湖でオオワシを見る機会が増えます。彼らの飛ぶ姿は、まるで自分が空の王者だと言わんばかりにとても優雅で堂々としているように見えます。

オオワシは、夏に日本にいることはほとんど無く、ロシア極東のアムール川下流域などで生活しています。繁殖期が終わり、冬が近づくと、越冬のために日本に渡ってきます。北海道には、2,500~3,000羽（全推定個体数6,000~7,000羽の45~50%）が飛来し、その多くが根室をはじめ道東地域で冬を過ごします。

肉食性の強い鳥で、主に、生きた魚を捕ったり、死んだ魚や獣などを食べたりします。根室でのオオワシも、浅瀬や海で魚を捕ったり、シカの死骸を食べたりしますが、近頃では風蓮湖で凍下待ち網漁が始まると、周辺に捨てられる魚を狙って800羽ものオオワシが集まることがあります。オオワシにとって氷下待ち網漁から得られる魚は貴重な食料となっているようです。

根室はオオワシの重要な越冬地の1つになっていますが、氷下待ち網漁など人との関わりの中で、その飛来数が維持されていると考えられます。観光資源としても重要視されているオオワシが、これからも安定して越冬するために、多くのオオワシが集まる氷下待ち網漁だけでなく、自然状態でオオワシが採餌できる環境について考えていく必要があります。



オオワシ（越冬期の1シーン）
氷下待ち網漁で獲れる魚を狙っています。

春国岱クイズ

春国岱の第3砂丘にはたくさんの倒木があります。倒木の根を見るとどれも地面をはうように横に広がっています。

さて、春国岱第3砂丘の木はなぜ深く根を張らないのでしょうか？

* A・Bから答えを選んでください。



A 土壌が浅いから

B そういふ植物だから

答えは次号に掲載します。

(先月号の答え…B)

いきもの図鑑



英名 Dusky thrush

学名 *Turdus naumanni eunomus*

ツグミ（ツグミ科）

北海道では冬鳥または旅鳥で、夏場はシベリア北部で繁殖します。ミミズや昆虫を捕食するほか、ナカマドなどの木の実は食べます。全長約24cmと体はやや大きめで、数も比較的多いので、見つけるのは難しくありません。オレンジ色の翼とキリリと白い眉が特徴です。

レポート

「ネイチャーセンター祭り」

11月3日(木・祝)、ネイチャーセンターの施設ボランティアグループ「 sunk 」が、ネイチャーセンター祭りを開催しました。ネイチャーセンター祭りではツリークライミング・おが粉アート・鳥の巣箱作り・紙芝居を行いました。どのイベントも大好評で、とくにツリークライミングは順番待ちをする子ども達で長蛇の列となりました。子どもたちは、最初怖がっていましたが、徐々に慣れ、木の一番高い所まで登れた子もいました。また、巣箱は作った後みんな、自然学習林に設置してきました。設置した参加者の方々は巣箱に小鳥が入るのが待ち遠しいようすでした。



ネイチャーセンター祭りの様子

NEWS

NEMURO ざりがに探偵団 今年だけで約 7500 匹のウチダザリガニを駆除！

ネイチャーセンターと協力してウチダザリガニの防除活動を行っている NEMURO ざりがに探偵団が、11月6日をもって今年の活動を終了しました。終了した時点で今年捕獲したウチダザリガニの数を集計してみると、なんと約 7500 匹にもなったことがわかりました。しかし、NEMURO ざりがに探偵団の隊長である高橋氏は、「これだけ駆除しても減っているという実感がない。来年も継続して活動していきたい。」と話していました。

※ウチダザリガニはアメリカ原産の外来種で、もともとは食用として日本に持ち込まれました。今では北海道を中心に分布を拡大し、在来種の生活を脅かすとして特定外来生物に指定されています。



NEMURO ざりがに探偵団活動の様子

春国岱の地質調査が行われました。

10月24日から10月29日まで春国岱・走古丹の地質調査が産業技術総合研究所の七山研究員らによって行われました。10月29日の春国岱調査にはネイチャーセンターのレンジャーも同行させていただきました。

調査の際に採集された火山灰や海砂の堆積物などから、各砂州列の形成年代や火山灰がどこからきたかなど様々な分析を行うそうです。分析がすすめば各砂丘の形成年や過去の環境などについて新しい情報が得られるかもしれません。



調査の際に採集された火山灰などの堆積物

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
12 / 11 まで	<特別展示> 北海道のラムサール条約湿地 北海道にあるラムサール条約湿地12ヶ所について紹介しています。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。
12 / 10 14:00~16:00	NEMURO ざりがに探偵団活動報告 & 意見交換会 特定外来生物であるウチダザリガニの防除活動を行っている「NEMURO ざりがに探偵団」が今年度の活動報告を行います。また、捕獲したウチダザリガニの新しい利用として、ザリガニ料理などを展示します。	無料	12/8（木）までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 ※会場：北海道新聞根室支局（根室市大正町1-1-1）
12 / 20 ~ 2 / 7	クラフトコーナー 自然の素材を使って、工作ができます。見本や自由な発想で作ってみましょう。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。
12 / 24 ~ 1 / 29	<特別展示> 外国から来たいきもの達 ～うし君による外来生物講座～ イラストレーター宮野（松下）和江さんによるイラスト展です。外来生物に関することを4コマ漫画形式でおもしろおかしく勉強できます。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。

ボランティア



春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スルクと個人参加のフィールド・ボランティアが活動をしています。

レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。

いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問い合わせください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールド・ボランティア 300円

ボランティアグループ・スルク 1500円

◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…



美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 野外での禁煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から先は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆12月の休館日：7、14、21、26、28、30、31日

◆12月の閉館時間：9:00~16:30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）

2011年11月発行